

優秀賞（山口新聞社賞） 明木母親クラブさくらんぼの会

代表者 田村 菜穂（地域づくり分野／萩市）

活動の動機・目的

明木小学校PTAの母親部会として活動していたが、1988年4月にさらなる躍進を図る為、「さくらんぼの会」と命名して、舞台芸術フェスティバルを始めた。

「家庭及び地域において、児童の健全な育成を推進する為の活動を図り、もって地域児童の福祉の向上に資すること」を活動目的としているが、少子高齢化の進む地区中で、会員自らが自分たちにできることを見つけ、会で検討し、取り入れ、積極的・弾力的に取り組んでいく。

活動の内容

会員の「和（仲良く一致団結）」、地域との「輪（連携）」、人と人との「話（対話）」を大切にしながら、自主的・積極的に次の事業に取り組んでいる。

①文化事業：舞台芸術フェスティバル小公演の開催。

明木の子供たちが心豊かに育つことを願い、平成10年より毎年1回開催。

平成27年の上演内容は、『人形劇 うみはぶくぶく（くわえばぺっと）』

※世代間交流の場や地域交流の場として子どもから高齢者まで多くの来場者で賑わう。会員が互いに役割分担した上で、出演者と一緒に会場設営などを実施。

②福祉事業：高齢者支援事業。

○独居の高齢者の慰問（2月）。

親子で手作りした小物を訪問時に贈っている。小学生のいない集落もあり楽しみにされる。

○「旭ボランティアグループ芸能発表会」の運営協力（12月）。

③ボランティア事業

旭マルチメディアセンターの環境整備。年2回の花壇作り、七夕飾り作り（6月）、クリスマスツリーの飾り付けとイルミネーション設置（12月）、正月用イルミネーション設置（12月）。

④まちづくり事業：地域振興行事等への参画・運営。

○「明木地区ふるさと祭り」では、プログラムの検討ほか、「お楽しみ抽選会」運営を担当。

○「明木地区農業文化祭」では、会員が子供服や日用品を持ち寄り、フリーマーケットを出店。

「お楽しみ抽選会」や「輪投げコーナー」を担当。「ふるさと祭り」共々昼食づくりを担当。

○地域コミュニティ協議会・明木公民館運営審議会において、地域づくりに女性の視点や幅広い年齢層の意見が求められる中、積極的に子育て世代の女性の意見や気づきを述べている。

⑤「ミントの会」立ち上げ。

小学校卒業生の親たち有志で、手芸品やシフォンケーキなど手作りおやつを製造・販売。

主に地区内の道の駅での販売や、舞台芸術公演日には、会場で販売している。

これからめざしたいこと

小学生52人 34世帯の明木地区で大規模な事業はできないが、その時々で自分たちにできることを見つけ、考えながら様々な事業に取り組み、高齢化率47.84%の中山間地域にとって大きな活力となるべく、活動していく。



独居高齢者宅への
慰問・贈呈用小物を
手作り中



人形劇
「うみはぶくぶく」